

共同研究課題名	共同研究代表者	共同研究代表者所属機関	受入研究者	受入研究者所属機関	新規・継続
【福島原発事故対応プロジェクト課題】					
①低線量・低線量率放射線の影響に関する研究(35件)					
低線量放射線が家畜の健康に与える影響の検討	村田 幸久	東京大学	神沼 修	広島大学	継続
野生型マウスを用いた循環器への放射線影響の解析	浜田 信行	電力中央研究所	東 幸仁	広島大学	継続
放射線影響評価プローブを用いたライブセルイメージング系の構築	大塚 健介	電力中央研究所	鈴木 啓司	長崎大学	継続
放射線発がんにおけるがん微小環境の役割	志村 勉	国立保健医療科学院	神谷 研二	広島大学	継続
高感度突然変異検出系を用いた放射線影響解析	田内 広	茨城大学	鈴木 啓司	長崎大学	継続
ラット乳腺におけるLRCとDNA損傷保持	今岡 達彦	量子科学技術研究開発機構	鈴木 啓司	長崎大学	継続
カエルおよびウニの初期発生に及ぼす低線量率放射線の影響	津田 雅貴	広島大学	松浦 伸也	広島大学	継続
低線量・低線量率被ばくによる組織幹細胞の影響解析	飯塚 大輔	量子科学技術研究開発機構	笹谷 めぐみ	広島大学	継続
低線量・低線量率の疫学研究のリスク推定値に対する交絡因子の影響を評価するためのシミュレーション研究	土居 主尚	量子科学技術研究開発機構	吉永 信治	広島大学	継続
低線量・低線量率の動物実験データと疫学研究のリスク推定値の差を解釈するためのシミュレーション研究	土居 主尚	量子科学技術研究開発機構	笹谷 めぐみ	広島大学	継続
海洋放出される処理水が日本の降水に及ぼす影響とその定量評価	栗田 直幸	名古屋大学	保田 浩志	広島大学	新規
放射線ばく露によるゲノム不安定性のリスク影響の解析	吉岡 研一	国立がん研究センター	田代 聰	広島大学	継続
低線量放射線被ばくの継世代影響のゲノムワイド解析系の開発	内村 有邦	放射線影響研究所	神沼 修	広島大学	継続
低線量率放射線誘発細胞応答における酸化ストレスの関与	小林 純也	国際医療福祉大学	松浦 伸也	広島大学	継続
甲状腺がんモデルマウスにおける低線量・低線量率放射線被ばく初期応答の解析	山田 裕	量子科学技術研究開発機構	永山 雄二	長崎大学	継続
放射線災害時における低線量電子スピニ共鳴(ESR)被ばく測定法を用いた長崎原爆被爆者及び福島川内村住民の被ばく線量推定	島崎 達也	熊本大学	横田 賢一	長崎大学	継続

共同研究課題名	共同研究代表者	共同研究代表者所属機関	受入研究者	受入研究者所属機関	新規・継続
Development of Strategy on Near Surface Disposal of Radioactive Waste and Case Study on Analysis of Social Reflections of ALPS Treated Water Discharge from Fukushima Daiichi NPP.	Qianhao JIN	The University of Tokyo	Hiroshi YASUDA	広島大学	新規
マウスの最新データから見るDNAの損傷・回復の数理的モデルからの検討	真鍋 勇一郎	大阪大学	鈴木 啓司	長崎大学	継続
発がん高感受性モデルマウスを用いたトリチウム水暴露による発がんのリスク評価	馬田 敏幸	産業医科大学	神谷 研二	広島大学	継続
福島事故後10年目の除染	中島 覚	広島大学	阿部 悠	長崎大学	継続
低線量(率)放射線で誘発される変異の次世代ハイスクープ解析法の確立	河合 秀彦	広島大学	笹谷 めぐみ	広島大学	継続
低線量放射線によるアポトーシス抑制効果の解析	加藤 真介	横浜薬科大学	阿部 悠	長崎大学	新規
自然起源放射性物質に着目した環境における代表的個人線量の評価	小池 弘美	東京大学	廣田 誠子	広島大学	新規
チェルノブイリ周辺地域と本邦の若年者甲状腺癌の病理組織学的検討	伊東 正博	長崎医療センター	中島 正洋	長崎大学	継続
若年者甲状腺がん発症関連遺伝子群の同定と発症機序の解明	鈴木 真一	福島県立医科大学	光武 範吏	長崎大学	継続
高感度DNA損傷分析による低線量・低線量率放射線生物影響の分子機構解明	寺東 宏明	岡山大学	保田 浩志	広島大学	継続
低線量・低線量率放射線が細胞に与える影響を定量評価するための新たな指標づくり	森島 信裕	理化学研究所	神谷 研二	広島大学	継続
低線量・低線量率放射線被ばくがマウス体内のTh1/Th2バランスに及ぼす影響	高山 英次	朝日大学	一戸 辰夫	広島大学	継続
低線量・低線量率放射線の持続照射によるDNA損傷の蓄積に関する検討	鈴木 正敏	東北大学	鈴木 啓司	長崎大学	継続
低線量率被ばくに対する造血システムの単一細胞レベルでの分子応答の解析	安永 晋一郎	福岡大学	松浦 伸也	広島大学	継続
低線量率被ばくによる造血幹細胞のミトコンドリアに与える影響	白須 直人	福岡大学	松浦 伸也	広島大学	継続
造血システムのゲノム障害に対する修復機構の使い分け	大野 芳典	福岡大学	松浦 伸也	広島大学	継続
放射線災害が福島県小児の肥満に及ぼす影響についての要因分析	菖蒲川 由郷	新潟大学	大平 哲也	福島県立医科大学	継続

共同研究課題名	共同研究代表者	共同研究代表者所属機関	受入研究者	受入研究者所属機関	新規・継続
低線量率放射線に対する細胞応答と放射線適応応答との関連の検討	立花 章	茨城大学	保田 浩志	広島大学	継続
放射線障害で誘導される組織障害に対する間葉系幹細胞の有効性	中島 歩	広島大学	東 幸仁	広島大学	新規

【福島原発事故対応プロジェクト課題】

②内部被ばくの診断・治療法の開発(1件)

甲状腺濾胞癌の鑑別診断を可能にするバイオマーカーおよびその治療のための新規薬剤標的分子の探索	石橋 宦	大阪府立大学	田代 聰	広島大学	継続
------------------------------------------------	------	--------	------	------	----

【福島原発事故対応プロジェクト課題】

③放射線防護剤の開発研究(5件)

放射線防護剤候補化合物による照射後の遺伝子発現変化の網羅的解析	森田 明典	徳島大学	稻葉 俊哉	広島大学	継続
シスチン・テアニンのラットにおける放射線防護効果	土屋 誉	仙台市医療センター 仙台オープ ン病院	中島 正洋	長崎大学	継続
環状オリゴ糖の生体への放射性ヨウ素吸収低減効果の検証	伊藤 茂樹	熊本大学	西 弘大	長崎大学	継続
クルクミンアナログによる、放射線防護と放射線増感同時作用の検証およびそのメカニズムの解明	仲田 栄子	国際医療福祉大学	松浦 伸也	広島大学	継続
伝統生薬・未解明植物由来の放射線防御物質探索研究	松浪 勝義	広島大学	田代 聰	広島大学	継続

【福島原発事故対応プロジェクト課題】

④放射線災害におけるリスクコミュニケーションのあり方等に関する研究(15件)

甲状腺嚢胞の機能的潜在性の解明	清水 悠路	長崎大学	林田 直美	長崎大学	継続
福島原発作業員に対するリスクコミュニケーションを含めた教育講習会実行のための不安調査	岡崎 龍史	産業医科大学	安村 誠司	福島県立医科大学	新規
健康行動に影響する身体・心理・社会的健康リスク要因変化の評価研究	田淵 貴大	大阪国際がんセンター	大平 哲也	福島県立医科大学	継続
東日本大震災後、トリプルディザスターを受けた南相馬市立総合病院における医薬品需要に関する調査	橋本 貴尚	(有)健康堂薬局	坪倉 正治	福島県立医科大学	新規
アジア太平洋地域の中等学校における放射線教育の効果に関する分析	宮崎 寛之	東京大学	廣田 誠子	広島大学	新規
東日本大震災後の避難及び帰還住民の疾患発症・死亡とその分布状況に関する研究	孫 智超	大阪大学	大平 哲也	福島県立医科大学	継続

共同研究課題名	共同研究代表者	共同研究代表者所属機関	受入研究者	受入研究者所属機関	新規・継続
震災後のこころの健康に影響を及ぼす地域のつながりに関するマルチレベル分析	長澤 真衣子	大阪大学	大平 哲也	福島県立医科大学	継続
Ethical Challenges in Health and Disaster Research	Sudeepa Abeysinghe	University of Edinburgh	Aya Goto	福島県立医科大学	新規
放射線災害前後の原子力に関する情報発信と入手傾向に関する分析研究	飯本 武志	東京大学	保田 浩志	広島大学	継続
原発事故後の行政対応に関するアーカイブ作成	黄倉 雅広	東京大学	久保田 明子	広島大学	新規
小学生の「食選択力」の育成:福島県原発事故後の福島県内における次世代の食育	岡部 聰子	郡山女子大学	後藤 あや	福島県立医科大学	継続
出産経験と震災後のストレス耐性との関連	安川 純代	岡山大学	大平 哲也	福島県立医科大学	継続
放射線誘発のDNA損傷を指標とした放射線防護剤・増感剤の探索	余語 克紀	名古屋大学	保田 浩志	広島大学	継続
福島第一原子力発電所事故後の避難区域およびその周辺地域における公衆衛生学的活動についての事例研究	西川 佳孝	京都大学	安村 誠司	福島県立医科大学	継続
マスメディア報道と放射線リスクコミュニケーションのあり方に関する研究	青柳 みどり	国立環境研究所	安村 誠司	福島県立医科大学	継続

【重点プロジェクト課題】

①ゲノム損傷修復の分子機構に関する研究(46件)

ヒストンH2AZユビキチン化のゲノム安定性維持における機能の解明	廣田 耕志	東京都立大学	田代 聰	広島大学	継続
細胞ストレスに対する小胞体機能変化の解析	今泉 和則	広島大学	長町 安希子	広島大学	継続
エピジェネティック因子による間接的DNA損傷修復機構の解明	中田 雄一郎	マイアミ大学	神沼 修	広島大学	継続
NBS1タンパク質によるDNA損傷応答制御機構に関する研究	田内 広	茨城大学	松浦 伸也	広島大学	継続
放射線のゼブラフィッシュの発生・老化への影響の研究	平田 普三	青山学院大学	本庶 仁子	広島大学	継続
放射線照射後の突然変異発生を抑制するDSB修復経路の研究	柴田 淳史	群馬大学	鈴木 啓司	長崎大学	継続
遅発性活性酸素によるATM活性化機構の解明	菫子野 元郎	奈良県立医科大学	鈴木 啓司	長崎大学	継続

共同研究課題名	共同研究代表者	共同研究代表者所属機関	受入研究者	受入研究者所属機関	新規・継続
アスコルビン酸の新たな機能探索による効果的がん抑制と放射線防護	土生 敏行	武庫川女子大学	笹谷 めぐみ	広島大学	継続
XRCC3遺伝子多型の心肥大発症・進展における役割	坂井 千恵美	広島大学	田代 聰	広島大学	継続
ゲノム損傷修復の心血管疾患発症における分子機構に関する研究	石田 万里	広島大学	田代 聰	広島大学	継続
核DNA損傷とミトコンドリアDNA損傷の相互関係の検討	石田 万里	広島大学	田代 聰	広島大学	新規
DNA損傷修復・応答因子の時系列解析	矢野 憲一	熊本大学	鈴木 啓司	長崎大学	継続
PCNAのポリユビキチン化の細胞生物学的解析	増田 雄司	名古屋大学	笹谷 めぐみ	広島大学	継続
低酸素環境下におけるゲノム損傷応答とがん治療法開発	江口 英孝	順天堂大学	谷本 圭司	広島大学	継続
悪性グリオーマ細胞の放射線感受性の検討	濱 聖司	広島大学	松浦 伸也	広島大学	継続
放射線によるゲノム損傷修復における非古典的翻訳開始因子の役割の解析	角田 茂	東京大学	神沼 修	広島大学	新規
放射線誘発突然変異の成立過程における、修復が困難なDNA損傷の役割	野田 朝男	放射線影響研究所	鈴木 啓司	長崎大学	継続
ナノポアーサークエンサーを用いた低酸素誘導核酸修飾検出法の確立	廣田 喜一	関西医科大学	谷本 圭司	広島大学	継続
放射線照射による妊娠性低下に対するNrf2の効果の検討	兼平 雅彦	山梨大学	神沼 修	広島大学	新規
スプライシング因子による放射線誘発DNA二本鎖切断の修復促進機構の解明	山内 基弘	九州大学	鈴木 啓司	長崎大学	新規
DNA二本鎖切断修復因子の相分離が染色体再編成の頻度に及ぼす影響の解明	尾崎 貴恵	九州大学	阿部 悠	長崎大学	新規
ヒストンH3K36メチル化酵素を介したゲノム損傷修復機構	浦 聖恵	千葉大学	田代 聰	広島大学	継続
ウイルス感染と放射線照射によるゲノム損傷に関する研究	吉山 裕規	島根大学	松浦 伸也	広島大学	継続
Alcohol intake is associated with the risk of developing hyperglycemic disorders in young women	Vladimir Pereverzev	Belarusian State Medical University	Naomi Hayashida	長崎大学	継続

共同研究課題名	共同研究代表者	共同研究代表者所属機関	受入研究者	受入研究者所属機関	新規・継続
Comparative assessment of gastroduodenal gastric microbiota resistome variability in patients living in the Gomel region of the Republic of Belarus infected with Helicobacter pylori to develop effective methods of resistance gene detection (using next generation sequencing) in persons affected by the Chernobyl disaster and residents of Japan with diseases of the gastrointestinal tract.	Evgenii Voropaev	Gomel State Medical University	Naomi Hayashida	長崎大学	新規
紫外線誘発DNA損傷の修復に関するクロマチン構造制御	菅澤 薫	神戸大学	田代 聰	広島大学	継続
低酸素環境下におけるエピゲノム変化とゲノム損傷応答の解析	末岡 榮三朗	佐賀大学	谷本 圭司	広島大学	継続
ゲノム損傷修復機構におけるRif1タンパク質の機能の解明	井口 智弘	東京都医学総合研究所	神沼 修	広島大学	継続
DNA二本鎖切断発生機構の解析	倉岡 功	福岡大学	田代 聰	広島大学	新規
公共データベースを活用した低酸素環境下における放射線応答ranscriptome解析	小野 浩雅	情報・システム研究機構	谷本 圭司	広島大学	継続
老化における低酸素シグナルとDNA修復機構	バワール ウジャール	日本大学	谷本 圭司	広島大学	継続
チェルノブイリ周辺地域におけるゲノム不安定性疾患群の症例収集と新規疾患原因因子の探索	荻 朋男	名古屋大学	光武 範吏	長崎大学	継続
発がんにおけるゲノム不安定性誘発の分子機構の解析	藤原 智子	大阪大学	笹谷 めぐみ	広島大学	新規
脱ユビキチン化酵素群によるDNA損傷依存的なプロテアソーム制御機構の解明	岡田 麻衣子	東京工科大学	鈴木 啓司	長崎大学	継続
Hypoxia-inducible factor- α と放射線感受性	牧野 雄一	旭川医科大学	谷本 圭司	広島大学	継続
53BP1蛍光染色を用いた潰瘍性大腸炎における発癌リスクの検討	橋口 廣一	長崎大学	赤澤 祐子	長崎大学	継続
早期咽頭癌における53BP1蛍光染色によるDNA損傷応答の検討	田渕 真惟子	長崎大学	赤澤 祐子	長崎大学	継続
肝細胞における脂肪酸ストレスとDNA損傷応答メカニズムの解明	中尾 康彦	長崎大学	赤澤 祐子	長崎大学	新規
The Roles of Matrin3 in DNA Repair	Lin Shi	Affiliated Hospital of Xuzhou Medical University	Satoshi Tashiro	広島大学	継続
中咽頭癌予後予測因子としてのDNA損傷応答分子発現解析	西 秀昭	長崎大学	松田 勝也	長崎大学	継続

共同研究課題名	共同研究代表者	共同研究代表者所属機関	受入研究者	受入研究者所属機関	新規・継続
医療放射線被曝に関連した皮膚癌での放射線特異的分子異常の解析	室田 浩之	長崎大学	中島 正洋	長崎大学	継続
Lig4欠損マウスの神経系細胞にみられるDNA損傷蓄積と加齢表現型の解析	白石 一乗	大阪府立大学	笹谷 めぐみ	広島大学	継続
結節内結節を伴う甲状腺良性結節の分子病理学的特徴解析	上田 真由	長崎大学	松田 勝也	長崎大学	新規
放射線障害応答におけるTIP60ヒストニアセチル化酵素複合体の役割	井倉 毅	京都大学	田代 聰	広島大学	継続
DNA損傷およびTHz照射により促進される細胞核内アクチン繊維形成の機構解析	原田 昌彦	東北大学	田代 聰	広島大学	新規
オートファジー機構に依存したがん異常増殖の仕組みの考察	古谷 寛治	京都大学	本庶 仁子	広島大学	新規

【重点プロジェクト課題】

②放射線発がん機構とがん治療開発に関する研究(34件)

低線量被曝が腫瘍随伴マクロファージの分化・機能に及ぼす影響	中嶋 正太郎	福島県立医科大学	神沼 修	広島大学	継続
造血器悪性腫瘍の発症・進展に関与するゲノム・エピゲノム異常の解析	松井 啓隆	熊本大学	長町 安希子	広島大学	継続
放射線誘発消化管腫瘍の発がん過程における病理組織学的解析	森岡 孝満	量子科学技術研究開発機構	笹谷 めぐみ	広島大学	継続
放射線誘発肝がん発症メカニズムの解明	森岡 孝満	量子科学技術研究開発機構	鈴木 啓司	長崎大学	継続
放射線照射によって惹起される免疫応答遺伝子の包括的発現解析	内原 優貴	群馬大学	鈴木 啓司	長崎大学	継続
放射線照射後にがん細胞で活性化される誤りがち修復経路を標的とした抗がん剤スクリーニング法の開発	香崎 正宙	産業医科大学	鈴木 啓司	長崎大学	継続
メトホルミンによるATM活性化分子メカニズムの解明	濱本 知之	昭和薬科大学	鈴木 啓司	長崎大学	継続
Etiology-specific roles of four genetic loci conferring risk for radiation-related and sporadic thyroid cancer in adult patients from Belarus	Tatsiana Leonava	Minsk City Clinical Oncological Center	Vladimir Saenko	長崎大学	継続
Expression of PD-L1 and PD-1 in poorly differentiated thyroid carcinoma as a means of selecting patients for immunotherapy	Mikhail Frydman	Minsk City Clinical Oncological Center	Vladimir Saenko	長崎大学	継続
宿主免疫監視機構を応用した革新的がん治療法開発	保田 朋波流	広島大学	稻葉 俊哉	広島大学	継続

共同研究課題名	共同研究代表者	共同研究代表者所属機関	受入研究者	受入研究者所属機関	新規・継続
放射線誘発肝がん原因遺伝子の探索	尚 奕	量子科学技術研究開発機構	鈴木 啓司	長崎大学	継続
腎細胞癌におけるBACH1機能解析を基礎とした抗PD-1抗体抵抗性獲得機序の解明	小畠 浩平	広島大学	神沼 修	広島大学	継続
ヘルパーT細胞における放射線照射が誘導する細胞老化の検討	王 鐸	産業医科大学	鈴木 啓司	長崎大学	新規
新規がん治療戦略としてのNFAT isoform選択的制御法の開発	北村 紀子	東京都医学総合研究所	神沼 修	広島大学	新規
放射線照射による細胞外マトリックスの構造、機能に与える影響の解明	越川 直彦	東京工業大学	神沼 修	広島大学	継続
Role of miR-214/Per1 in mediating circadian variation of radiation sensitivity between normal and cancer cells	Ning-Ang Liu	School of Radiation Medicine and Protection (SRMP), Soochow University, China	Jiying Sun	広島大学	継続
低線量・低線量率放射線発がんのエピゲノム解析	臺野 和広	量子科学技術研究開発機構	笹谷 めぐみ	広島大学	継続
原爆被爆者の保存血液試料に関するゲノム解析の試行調査	林 奉権	放射線影響研究所	松浦 伸也	広島大学	継続
PD-L1 expression in radioiodine-refractory radiogenic and sporadic thyroid cancer from Ukraine	Liudmyla Zurnadzhyy	State Institution "VP Komisarenko Institute of Endocrinology and Metabolism of the NAMS of Ukraine" (IEM)	Vladimir Saenko	長崎大学	継続
小細胞肺がん由来の高転移性細胞の悪性化機序の解析	坂本 修一	微生物化学研究会	笹谷 めぐみ	広島大学	継続
放射線照射したマウスの骨髓・脾臓内造血幹細胞の細胞動態の解析～放射線誘発マウス急性骨髓性白血病のメカニズムを考える～	小嶋 光明	大分県立看護科学大学	鈴木 啓司	長崎大学	継続
マウスの放射線肝発がんに関連する肝星細胞およびマクロファージの解析	多賀 正尊	放射線影響研究所	鈴木 啓司	長崎大学	継続
間葉系幹細胞由来ナノ小胞による新規細胞療法の開発	三浦 康生	藤田医科大学	一戸 辰夫	広島大学	新規
甲状腺癌治療抵抗性因子の探索	田中 彩	長崎大学	光武 範吏	長崎大学	継続
90Y標識内用放射線治療薬剤の開発 -放射線障害メカニズム解析と被ばく低減のための分子設計-	淵上 剛志	金沢大学	西 弘大	長崎大学	継続

共同研究課題名	共同研究代表者	共同研究代表者所属機関	受入研究者	受入研究者所属機関	新規・継続
組織内微小環境の変化から探る、放射線発がん感受性に関わるメカニズム	砂押 正章	量子科学技術研究開発機構	鈴木 啓司	長崎大学	継続
放射線照射と化学療法による脳腫瘍幹細胞の再燃抑制	杉森 道也	富山大学	光武 範吏	長崎大学	新規
免疫放射線療法後のマウス大腸癌肝転移巣におけるアブスコパル効果の評価	北台 靖彦	県立広島大学	神沼 修	広島大学	新規
原爆被爆者に発症する骨髄異形成症候群/骨髄増殖性疾患の実態の解明	今西 大介	長崎県五島中央病院	宮崎 泰司	長崎大学	継続
Transcription elongation regulation of inflammation	Jun Ninomiya-Tsuji	North Carolina State University	Maiko Ingakaki	広島大学	継続
iPS細胞とラマン測定を利用した放射線感受性個人差推定法の確立	堀江 正信	京都大学	藤田 英明	広島大学	新規
SirtuinによるDNA酸化損傷修復の制御機構の解明	立花 章	茨城大学	神谷 研二	広島大学	継続
放射線被ばくによるエピジェネティクス搅乱機構解明	横谷 明徳	茨城大学	鈴木 啓司	長崎大学	継続
ヒトがんにおける発がん機序と悪性度規定因子の解明	檜山 英三	広島大学	谷本 圭司	広島大学	継続

【重点プロジェクト課題】

③放射線災害医療開発の基礎的研究(8件)

先端電子顕微鏡を用いた新たな放射線障害解析手法の開発	岩根 敦子	理化学研究所	田代 聰	広島大学	継続
T細胞レパートリーの変動が疾患発症に果たす役割	井上 貴美子	理化学研究所	神沼 修	広島大学	継続
肺線維症の発症機序の解析による創薬標的の探索	奈邊 健	摂南大学	神沼 修	広島大学	新規
放射線性顎骨壊死のリスク因子となる歯周病の病態解明と治療法開発	田中 芳彦	福岡歯科大学	神沼 修	広島大学	継続
クローン造血と心血管疾患のマウスモデル研究	楠 洋一郎	放射線影響研究所	笹谷 めぐみ	広島大学	継続
マウスの放射線肝傷害に関連する新規バイオマーカーの網羅的探索	多賀 正尊	放射線影響研究所	笹谷 めぐみ	広島大学	継続
人の歯を用いた被曝線量測定装置の開発	三宅 実	香川大学	保田 浩志	広島大学	継続

共同研究課題名	共同研究代表者	共同研究代表者所属機関	受入研究者	受入研究者所属機関	新規・継続
電子スピン共鳴法を利用した医療従事者の被ばく線量評価	山口 一郎	国立保健医療科学院	保田 浩志	広島大学	継続

【重点プロジェクト課題】

④被ばく医療の改善に向けた再生医学的基礎研究(8件)

循環器疾患における再生医療に関する研究	梶川 正人	広島大学	東 幸仁	広島大学	継続
血管内皮細胞機能解析に関する研究	田口 明	松本歯科大学	東 幸仁	広島大学	継続
ネクローシス細胞により誘導される炎症応答の解明	永田 喜三郎	東邦大学	神沼 修	広島大学	新規
ヒト骨髓由来間葉系幹細胞の初期化とそれによる正常組織の放射線障害の治療	細井 義夫	東北大学	松浦 伸也	広島大学	新規
心筋細胞機能解析に関する研究	高橋 将文	自治医科大学	東 幸仁	広島大学	継続
間葉系幹細胞由来エクソソームを用いた運動器再生治療に関する研究	安達 伸生	広島大学	東 幸仁	広島大学	継続
心筋細胞機能解析に関する研究	後藤 力	広島国際大学	東 幸仁	広島大学	継続
腎臓と骨格筋と皮膚における放射線影響に関する研究	西山 成	香川大学	東 幸仁	広島大学	新規

【重点プロジェクト課題】

⑤放射線災害における健康影響と健康リスク評価研究(28件)

脳虚血に伴うストレス応答物質の解析	酒井 規雄	広島大学	田代 聰	広島大学	継続
被爆者の放射線被曝と動脈硬化ならびに循環器疾患の関連性についての研究	佐々木 伸夫	広島原爆障害対策協議会	東 幸仁	広島大学	新規
個体別放射線感受性評価の確立	岡崎 龍史	産業医科大学	鈴木 啓司	長崎大学	新規
東日本大震災後に避難した若年者の長期的な健康影響調査	山本 佳奈	医療ガバナンス研究所	坪倉 正治	福島県立医科大学	新規
東日本大震災後4年間の腹部肥満の推移と生活習慣との関連	上村 真由	名古屋大学	大平 哲也	福島県立医科大学	継続
東日本大震災後の相双地域における健康弱者の緊急避難時およびその後の健康影響と課題調査	野中 沙織	南相馬市立総合病院	坪倉 正治	福島県立医科大学	継続

共同研究課題名	共同研究代表者	共同研究代表者所属機関	受入研究者	受入研究者所属機関	新規・継続
放射線災害後の笑い等のポジティブな因子と生活習慣病発症との関連	江口 依里	福島県立医科大学	大平 哲也	福島県立医科大学	継続
震災前後における生活・経済状況の変化と循環器疾患との関連:福島県県民健康調査	野田 愛	順天堂大学	大平 哲也	福島県立医科大学	継続
放射能汚染飼料が家畜の健康に及ぼす影響に関する研究	桑原 正貴	東京大学	神沼 修	広島大学	継続
放射線災害後の食事パターンと将来の精神的苦痛との関連:福島県県民健康調査	吉田 純子	福山大学	大平 哲也	福島県立医科大学	継続
ゲル線量計データ三次元再構成におけるノイズ除去法の開発	林 慎一郎	広島国際大学	廣田 誠子	広島大学	継続
Prevalence of behavioral risk factors for COVID-19 infection in the territories affected by the Chernobyl disaster	Tamara Sharshakova	Gomel State Medical University	Naomi Hayashida	長崎大学	新規
Assessment of an anxiety level of the population in the territories affected by the Chernobyl disaster in the conditions of the COVID-19 spreading	Tamara Sharshakova	Gomel State Medical University	Naomi Hayashida	長崎大学	新規
震災後の喫煙状況の変化とそれに影響を与える要因の検討	村上 理紗	神戸大学	大平 哲也	福島県立医科大学	新規
Spatiotemporal variation of natural radon isotopes in assessing indoor human exposures and effective countermeasures using room based experiments	HASAN MD MAHAMUDUL	The University of Tokyo	Tetsuo Ishikawa	福島県立医科大学	新規
Cross-cultural study of information needs and organizational approaches on diabetes issues of population in Gomel and Fukushima	Anastasiya Sachkouskaya	Gomel State Medical University	Aya Goto	福島県立医科大学	継続
細胞質分裂阻害微小核法における好中球の影響解明	竹林 花依	弘前大学	鈴木 啓司	長崎大学	継続
再生医療用細胞の航空機輸送中の宇宙放射線被曝対策に関する研究	青山 朋樹	京都大学	保田 浩志	広島大学	継続
震災後の生活習慣が健診所見とその後の変化に及ぼす影響:小児～青年期における検討	山岸 良匡	筑波大学	大平 哲也	福島県立医科大学	継続
ABCC/RERF関連資料を利用した放射線災害による健康影響研究史の基礎的研究	飯田 香穂里	総合研究大学院大学	久保田 明子	広島大学	継続
自然放射線に起因する空間放射線量変動と積雪の関係に関する研究	大森 康孝	弘前大学	石川 徹夫	福島県立医科大学	新規
放射線被曝と背景因子が腎疾患発症に与える影響についての検討	今田 恒夫	山形大学	安村 誠司	福島県立医科大学	継続
放射線災害後の健康被害測定指標の提言に関する研究	越智 小枝	東京慈恵会医科大学	安村 誠司	福島県立医科大学	継続

共同研究課題名	共同研究代表者	共同研究代表者所属機関	受入研究者	受入研究者所属機関	新規・継続
主観的健康感の長期的な推移:県民健康調査	永井 雅人	東京医科歯科大学	大平 哲也	福島県立医科大学	新規
避難者における糖尿病発症リスクに精神的苦痛が与える影響の解明及び個別化されたリスクプロファイリング:10年追跡研究	川崎 良	大阪大学	安村 誠司	福島県立医科大学	継続
東日本大震災が高齢者の身体・認知機能に及ぼした影響に関する検討	祖父江 友孝	大阪大学	安村 誠司	福島県立医科大学	新規
福島県内の避難区域住民におけるトラウマ反応及び精神的不調と循環器疾患との関連	手塚 一秀	大阪がん循環器病予防センター	大平 哲也	福島県立医科大学	継続
深層学習を用いた生体物質のESR信号ノイズ除去方法の開発	豊田 新	岡山理科大学	廣田 誠子	広島大学	継続

【重点プロジェクト課題】

⑥RIの医療への応用(14件)

放射線誘発性神経、泌尿、生殖系障害におけるKATPチャネル分子の役割	周 明	秋田大学	李 桃生	長崎大学	継続
放射性同位体を用いたアスペルギルス症の新たな治療戦略の開発	田代 将人	長崎大学	西 弘大	長崎大学	継続
がん低酸素を標的とした核医学診断・治療法の開発	志水 陽一	京都大学	趙 松吉	福島県立医科大学	継続
PET-MR複合装置によるPET画像の画質改善に関する研究	高橋 康幸	弘前大学	織内 昇	福島県立医科大学	継続
アイソトープ内用療法に有用なアスタチン-211化学分離法の研究	横山 明彦	金沢大学	鶴山 幸信	福島県立医科大学	継続
薬剤耐性菌感染症を検出可能な核医学画像診断法の開発	小林 正和	金沢大学	西 弘大	長崎大学	継続
ボロン酸前駆体を用いた211At標識法の開発とラジオセラノスティクスプローブへの応用	木村 寛之	京都薬科大学	高橋 和弘	福島県立医科大学	新規
アスタチンの基礎科学・放射化学特性研究	西中 一朗	量子科学技術研究開発機構	鶴山 幸信	福島県立医科大学	継続
アスタチンの可視化分析技術開発	瀬川 麻里子	日本原子力研究開発機構	鶴山 幸信	福島県立医科大学	継続
小学児童における睡眠状態とメンタルヘルスとの関連	谷川 武	順天堂大学	大平 哲也	福島県立医科大学	継続
シンチグラフィによる線量評価の妥当性ならびにLu-177-DOTATATEの腎毒性との相関に関する研究	宮司 典明	がん研究会明病院	織内 昇	福島県立医科大学	新規

共同研究課題名	共同研究代表者	共同研究代表者所属機関	受入研究者	受入研究者所属機関	新規・継続
タウPET専用ファントムの解析手法の確立	我妻 慧	北里大学	三輪 建太	福島県立医科大学	新規
アルファ線放出核種を包括したラジオセラノスティクス用プローブ開発研究	小川 数馬	金沢大学	高橋 和弘	福島県立医科大学	継続
211Atを基軸とした標的型セラノスティクス技術基盤の開発	中村 浩之	東京工業大学	鷺山 幸信	福島県立医科大学	新規

【重点プロジェクト課題】

⑦医療放射線研究(6件)

光感受性物質を用いた悪性脳腫瘍に対する新規放射線増感治療の開発	三島 一彦	埼玉医科大学	神沼 修	広島大学	継続
重粒子線に対するDNA損傷応答反応の解析	中村 麻子	茨城大学	鈴木 啓司	長崎大学	継続
低酸素環境下乳がん細胞における植物エストロゲンと放射線応答の解析	坂本 隆子	自治医科大学	谷本 圭司	広島大学	継続
腹部分割照射後の腸管障害に対する有効なp53制御剤の評価	西山 祐一	徳島大学	笹谷 めぐみ	広島大学	継続
放射線による味覚障害メカニズムの研究	小西 勝	広島大学	松浦 伸也	広島大学	継続
LAT1を標的とした新たな放射線誘発性がん治療戦略の開発	林 啓太朗	獨協医科大学	神沼 修	広島大学	継続

【自由研究課題】(38件)

植物由来乳酸菌の代謝産物の機能性スクリーニング	杉山 政則	広島大学	谷本 圭司	広島大学	継続
Effect of antibiotic and hormonal therapy on intrauterine microbial colonization in endometriosis	Khaleque Khan	Kyoto Prefectural University of Medicine	Masahiro Nakashima	長崎大学	継続
口腔内細菌叢の変容が肺線維症に与える影響の検討	服部 登	広島大学	宮田 義浩	広島大学	新規
既知の(エピ)ゲノム異常が認められないBeckwith-Wiedemann症候群患者のwhole exome sequencing	副島 英伸	佐賀大学	吉浦 孝一郎	長崎大学	新規
脂肪由来幹細胞による乾癬治療法の検討	荻野 龍平	広島大学	谷本 圭司	広島大学	継続
疾患治療および診断や予防に活用可能なモノクローナル抗体の開発	下岡 清美	広島大学	神沼 修	広島大学	新規

共同研究課題名	共同研究代表者	共同研究代表者所属機関	受入研究者	受入研究者所属機関	新規・継続
自然免疫におけるoptineurinの機能解析	福士 雅也	広島大学	川上 秀史	広島大学	継続
顕著な適応進化を遂げた両生類の全ゲノム解読	井川 武	広島大学	川上 秀史	広島大学	継続
卵巣癌におけるLAT1の発現とmTORの活性化の機序解析	関根 仁樹	広島大学	川上 秀史	広島大学	継続
化学物質による内在性因子の生体内、細胞内動態変化に伴う生体影響(5)	古武 弥一郎	広島大学	藤本 成明	広島大学	継続
BMP/SmadとTNF α 依存性炎症シグナルとの相互作用の解析	土屋 志津	広島大学	稻葉 俊哉	広島大学	新規
運動による免疫応答制御メカニズムの解明	椎葉 大輔	倉敷芸術科学大学	谷本 圭司	広島大学	継続
被災した病院看護師が県内外の避難所へ派遣された経験から得られる災害対応への課題	澤野 豊明	ときわ会常磐病院	坪倉 正治	福島県立医科大学	新規
変形性膝関節症に対する新規治療標的の探索	森岡 徳光	広島大学	谷本 圭司	広島大学	継続
2011年福島震災後のがん診療アクセス低下の原因を検索するインタビュー調査	尾崎 章彦	ときわ会常磐病院	坪倉 正治	福島県立医科大学	新規
血管石灰化が中枢神経系へ及ぼす影響の解明	星野 友則	広島大学	谷本 圭司	広島大学	継続
ストレスに適応する行動の神経回路基盤	相澤 秀紀	広島大学	川上 秀史	広島大学	継続
バセドウ病における無機ヨウ素の抗甲状腺作用の分子メカニズムとエスケープ現象の解明	内田 豊義	順天堂大学	永山 雄二	長崎大学	継続
アトピー性皮膚炎由来黄色ブドウ球菌と自然免疫の解析	沼田 智史	広島大学	神沼 修	広島大学	継続
クローン病の線維性狭窄に寄与するシグナル伝達経路の解明	塩田 純也	長崎大学	赤澤 祐子	長崎大学	新規
がん悪液質発症機構の解明と包括的運動療法プログラムの開発	宮崎 充功	広島大学	谷本 圭司	広島大学	継続
低線量放射線による血管機能に及ぼす影響に関する研究	平野 陽豊	静岡大学	東 幸仁	広島大学	継続
リンパ浮腫における免疫異常関連遺伝子の研究	今井 洋文	広島大学	一戸 辰夫	広島大学	継続

共同研究課題名	共同研究代表者	共同研究代表者所属機関	受入研究者	受入研究者所属機関	新規・継続
プロリン異性化酵素による癌・生活習慣病発症機序の解明	浅野 知一郎	広島大学	稲葉 俊哉	広島大学	継続
コモンマーモセットの性周期解析	外丸 祐介	広島大学	谷本 圭司	広島大学	継続
ヒト副腎培養細胞株を用いた副腎腫瘍発現遺伝子の機能解析	沖 健司	広島大学	一戸 辰夫	広島大学	継続
Tscm細胞による肝炎治療への応用に向けた研究	茶山 弘美	広島大学	一戸 辰夫	広島大学	新規
移植および腫瘍抗原特異的免疫応答評価法の確立と解析	大段 秀樹	広島大学	田代 聰	広島大学	新規
網膜神経節細胞に対するROCK阻害薬の神経保護効果の解明	江戸 彩加	広島大学	田代 聰	広島大学	新規
褐色脂肪細胞分化におけるエピジェネティック調節機構の解明	大野 晴也	広島大学	長町 安希子	広島大学	継続
遺伝性神経疾患の病態解明	中森 正博	広島大学	久米 広大	広島大学	継続
遺伝子発現誘導系の確立	藤井 輝久	広島大学	田代 聰	広島大学	継続
Aキナーゼアンカータンパク変異体における心筋内カルシウム動態の解明	中野 由紀子	広島大学	田代 聰	広島大学	継続
ノックアウト細胞を用いた一次繊毛の機能解析	池上 浩司	広島大学	川上 秀史	広島大学	継続
肺動脈性肺高血圧症における自然リンパ球の役割の解明	中江 進	広島大学	一戸 辰夫	広島大学	新規
消化器癌に対するがんゲノム解析およびcirculation tumor DNAの解析	ト部 祐司	広島大学	長町 安希子	広島大学	継続
細胞内におけるタンパク質液液相分離の機能解明	楯 真一	広島大学	田代 聰	広島大学	新規
脂肪細胞特異的 Ints6 コンディショナルノックアウトマウスの解析	大谷 裕一郎	広島大学	一戸 辰夫	広島大学	新規

Joint Research Title	Joint Researcher (Representative)	Affiliated Organization	Resident Researcher (Representative)	Affiliated Organization	New. · Conti.
【Projects responding to Fukushima Nuclear Power Plant accident】					
1. Research on low-dose and low-dose rate radiation effects					
Examination of the effects of low-dose radiation on livestock health	Murata Takahisa	University of Tokyo	Osamu Kaminuma	Hiroshima University	Conti.
A study on radiation effects to the circulatory system of wild-type mice	Nobuyuki Hamada	Central Research Institute of Electric Power Industry	Yukihito Higashi	Hiroshima University	Conti.
Live cell imaging using a genetic probe for detection of radiation effects	Kensuke Otsuka	Central Research Institute of Electric Power Industry	Keiji Suzuki	Nagasaki University	Conti.
Role of tumor microenvironment in radiation-induced tumor	Tsutomu Shimura	National Institute of Public Health	Kenji Kamiya	Hiroshima University	Conti.
Analysis of somatic mutation induction by using a hyper-sensitive system	Hiroshi Tauchi	Ibaraki University	Keiji Suzuki	Nagasaki University	Conti.
Retaining of labels and DNA damage in rat mammary gland	Tatsuhiko Imaoka	Natl Institutes for Quantum Science and Technology	Keiji Suzuki	Nagasaki University	Conti.
Effects of low - dose radiation on the early development of sea urchin and Xenopus	Masataka tsuda	Hiroshima University	Shinya Matsuura	Hiroshima University	Conti.
Biological effects of low-dose/low-dose-rate exposure on stem cells	Daisuke IIZUKA	National Institutes for Quantum Science and Technology	Megumi Sasatani	Hiroshima University	Conti.
Simulation studies to evaluate the impact of confounding factors on risk estimates in low dose and dose rate radiation epidemiological studies	Kazutaka Doi	National Institute for Quantum Science and Technology	Shinji Yoshinaga	Hiroshima University	Conti.
Simulation studies to reinforce the interpretation of the differences between results of animal experiments and epidemiological studies	Kazutaka Doi	National Institute for Quantum Science and Technology	Megumi Sasatani	Hiroshima University	Conti.
Understanding of the impact of discharged wastewater to rainfall over Japan	KURITA Naoyuki	Nagoya University	Hiroshi Yasuda	Hiroshima University	New.
Radiation exposure and the resulting risk of genomic destabilization	Ken-ichi Yoshioka	National cancer center research institute	Satoshi Tashiro	Hiroshima University	Conti.
Genome-wide analysis for the transgenerational effects of low-dose radiation exposure	Uchimura Arikuni	Radiation Effects Research Foundation	Osamu Kaminuma	Hiroshima University	Conti.
Role of oxidative stress with cellular responses under low dose-rate irradiation	Junya Kobayashi	International University of Health and Welfare	Shinya Matsuura	Hiroshima University	Conti.
Analysis of initial response to low-dose/low-dose-rate radiation exposure in thyroid cancer model mice	Yamada Yutaka	National Institutes for Quantum Science and Technology	Yuji Nagayama	Nagasaki University	Conti.
Radiation personal dosimeter using human tooth enamel by electron spin resonance method at radiation disaster	TATSUYA SHIMASAKI	Kumamoto University	Kenichi Yokota	Nagasaki University	Conti.

Joint Research Title	Joint Researcher (Representative)	Affiliated Organization	Resident Researcher (Representative)	Affiliated Organization	New. · Conti.
Development of Strategy on Near Surface Disposal of Radioactive Waste and Case Study on Analysis of Social Reflections of ALPS Treated Water Discharge from Fukushima Daiichi NPP.	Qianhao JIN	The University of Tokyo	Hiroshi Yasuda	Hiroshima University	New.
Examining the latest data on mice from a mathematical model that considers DNA damage and recovery	Yuichiro Manabe	Osaka University	Keiji Suzuki	Nagasaki University	Conti.
Risk assessment of carcinogenesis due to exposure to tritiated water using a mouse model with high susceptibility to carcinogenesis	Toshiyuki Umata	University of Occupational and Environmental Health, Japan	Kenji Kamiya	Hiroshima University	Conti.
The tenth-year decontamination after Fukushima accident	Satoru Nakashima	Hiroshima University	Yu Abe	Nagasaki University	Conti.
Establishment of a next generation sequencing method for high-throughput analysis of mutations induced by low-dose(-rate) irradiation	Hidehiko Kawai	Hiroshima University	Megumi Sasatani	Hiroshima University	Conti.
Study on suppression effect of cell death by low-dose radiation	Shinsuke Katoh	Yokohama University of Pharmacy	Yu Abe	Nagasaki University	New.
Assessing Dose of Representative Persons in the Environment focusing on Naturally Occurring Radioactive Materials	Hiromi Koike	The University of Tokyo	Seiko Hirota	Hiroshima University	New.
Histopathological examination of juvenile thyroid cancer in the area around Chernobyl and in Japan	Masahiro Ito	Nagasaki Medical Center	Masahiro Nakashima	Nagasaki University	Conti.
Molecular pathogenesis of childhood and adolescent thyroid cancers	SUZUKI Shinichi	Fukushima Medical University	Norisato Mitsutake	Nagasaki University	Conti.
High sensitivity analysis of DNA damage induced by ionizing radiation of low dose and low dose rate	Hiroaki Terato	Okayama University	Hiroshi Yasuda	Hiroshima University	Conti.
Development of an analytical method to quantitatively evaluate biological effects caused by low-dose or low-dose-rate irradiation	Nobuhiro Morishima	RIKEN	Kenji Kamiya	Hiroshima University	Conti.
Effect of low-dose / low-dose-rate radiation exposure for Th1 / Th2 balance in vivo on mouse	Eiji TAKAYAMA	Asahi University	Tatsuo Ichinohe	Hiroshima University	Conti.
The study of DNA damage accumulation in response to long-term low-dose/low-dose rate radiation exposure	Masatoshi Suzuki	Tohoku University	Keiji Suzuki	Nagasaki University	Conti.
Analysis of molecular response of hematopoietic stem cells to low dose rate radiation in the single cell level	Shin'ichiro Yasunaga	Fukuoka University	Shinya Matsuura	Hiroshima University	Conti.
Effect of low dose rate radiation for mitochondria in hematopoietic stem cells	Naoto Shirasu	Fukuoka University	Shinya Matsuura	Hiroshima University	Conti.
Selection of repair mechanism for genomic damage in hematopoietic system	Yoshinori Ohno	Fukuoka University	Shinya Matsuura	Hiroshima University	Conti.

FY2022 Adopted Joint Usage/Research Projects (As of December 26, 2022)

Joint Research Title	Joint Researcher (Representative)	Affiliated Organization	Resident Researcher (Representative)	Affiliated Organization	New. · Conti.
Factor analysis on the effects of radiation disasters on obesity in children in Fukushima Prefecture.	Shobugawa Yugo	Niigata University	Tetsuya Ohira	Fukushima Medical University	Conti.
Analysis of the relation of cellular responses to low-dose radiation to the radioadaptive response	Akira Tachibana	Ibaraki University	Hiroshi Yasuda	Hiroshima University	Conti.
Effect of mesenchymal stem cells on radiation-induced tissue injury	Nakashima Ayumu	Hiroshima University	Yukihiro Higashi	Hiroshima University	New.

【Projects responding to Fukushima Nuclear Power Plant accident】

2. Development of diagnostic and treatment methods for internal radiation exposure

Exploration of biomarkers for the differential diagnosis of follicular thyroid cancer and novel drug-targeted molecules for their treatment	Osamu Ishibashi	Osaka Prefecture University	Satoshi Tashiro	Hiroshima University	Conti.
---------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------	-----------------	-----------------------------	-----------------	----------------------	--------

【Projects responding to Fukushima Nuclear Power Plant accident】

3. Research and development of radiation-protective drugs

Comprehensive analysis of gene expression changes after irradiation with candidate compounds for radioprotective agents	Akinori Morita	Tokushima University	Toshiya Inaba	Hiroshima University	Conti.
Radioprotective effects of a cystine and theanine mixture in rats	Takashi Tsuchiya	Sendai Open Hospital	Masahiro Nakasima	Nagasaki University	Conti.
Verification of the effect of cyclodextrin on reducing the absorption of radioactive iodine into the body	Shigeki ITO	Kumamoto University.	Kodai Nishi	Nagasaki University	Conti.
Experimental studies on radiation and Curcumin analogues, GO-Y030, GO-Y022 and GO-Y078. Molecular mechanisms of radioresistance and radiosensitivity in human cancer cells.	Eiko Nakata	International University of Health and Welfare	Shinya Matsuura	Hiroshima University	Conti.
Phytochemical study on radioprotective natural compounds	Matsunami Katsuyoshi	Hiroshima University	Satoshi Tashiro	Hiroshima University	Conti.

【Projects responding to Fukushima Nuclear Power Plant accident】

4. Research on risk communication regarding radiation disasters

Clarifying the potential function of thyroid cysts	Yuji Shimizu	Nagasaki University	Naomi Hayashida	Nagasaki University	Conti.
Anxiety survey for the implementation of risk communication for Fukushima nuclear power plant workers	Ryuji Okazaki	University of Occupational and Environmental Health, Japan	Seiji Yasumura	Fukushima Medical University	New.
Evaluation study of changes in physical, psychological, and social risk factors that influence health behavior	Takahiro TABUCHI	Osaka International Cancer Institute	Tetsuya Ohira	Fukushima Medical University	Conti.

Joint Research Title	Joint Researcher (Representative)	Affiliated Organization	Resident Researcher (Representative)	Affiliated Organization	New. · Conti.
A survey of medicines' demands of Minamisoma Municipal General Hospital affected by triple disaster after the Great East Japan Earthquake.	Takanao Hashimoto	Kenkodo Pharmacy	Masaharu Tsubokura	Fukushima Medical University	New.
Analysis of the Impressions and Knowledge of Radiation in Countries in the Asia-Pacific Region	Miyazaki Tomoyuki	The University of Tokyo	Seiko Hirota	Hiroshima University	New.
Research on the incidence and death of diseases and their distribution of evacuees and returnees after the Great East Japan Earthquake	SUN ZHICHAO	Osaka University	Tetsuya Ohira	Fukushima Medical University	Conti.
A Multilevel Analysis of Community Connections Affecting Mental Health after the Earthquake	Maiko Nagasawa	Osaka University	Tetsuya Ohira	Fukushima Medical University	Conti.
Ethical Challenges in Health and Disaster Research	Sudeepa Abeysinghe	University of Edinburgh	Aya Goto	Fukushima Medical University	New.
An analytical study on the tendency of information dissemination and acquisition about nuclear before and after a radiation disaster	Takeshi IIMOTO	The University of Tokyo	Hiroshi Yasuda	Hiroshima University	Conti.
Exploration for storage and usage of administrative records after nuclear accident.	OKURA, Masahiro	The University of Tokyo	Akiko Kubota	Hiroshima University	New.
Fostering " Dietary Choice " of Elementary School Students: The Next Generation of Shokuiku in Fukushima Prefecture after the Fukushima Nuclear Accident	Satoko Okabe	Koriyama Women's University	Aya Goto	Fukushima Medical University	Conti.
Association between parity status and after great disaster psychological stress tolerance	Sumiyo Yasukawa	Okayama University	Tetsuya Ohira	Fukushima Medical University	Conti.
Study for searching radioprotector/radiosensitizer using plasmid DNA damage as indicator	Katrunori Yogo	Nagoya University	Hiroshi Yasuda	Hiroshima University	Conti.
A case study of public health activities in evacuated areas and surrounding areas after the Fukushima Daiichi Nuclear Power Plant accident	Yoshitaka Nishikawa	Kyoto University	Seiji Yasumura	Fukushima Medical University	Conti.
A research of the impact of mass media coverage on public perception on the radiation	Midori Aoyagi	National Institute for Environmental Studies	Seiji Yasumura	Fukushima Medical University	Conti.

【Other important projects】

1. Research on the molecular mechanisms of genomic damage and repair

Analysis of the role of histone H2AZ ubiquitination in genome maintenance	Kouji Hirota	Tokyo Metropolitan University	Satoshi Tashiro	Hiroshima University	Conti.
The analysis for the endoplasmic reticulum function altered by cellular stress.	Kazunori Imaizumi	Hiroshima University	Akiko Nagamachi	Hiroshima University	Conti.
Histone H3K4me3 is required for the DNA damage response	Nakata Yuichiro	University of Miami	Osamu Kaminuma	Hiroshima University	Conti.

FY2022 Adopted Joint Usage/Research Projects (As of December 26, 2022)

Joint Research Title	Joint Researcher (Representative)	Affiliated Organization	Resident Researcher (Representative)	Affiliated Organization	New. · Conti.
Role of NBS1 protein in cellular responses to ionizing radiation	Hiroshi Tauchi	Ibaraki University	Shinya Matsuura	Hiroshima University	Conti.
Effects of radiation on development and aging in zebrafish	Hiromi Hirata	Aoyama Gakuin University	Yasuko Honjo	Hiroshima University	Conti.
Elucidation of the mechanism underlying DSB repair machinery for the suppression of genetic mutation after ionizing radiation	Atsushi Shibata	Gunma University	Keiji Suzuki	Nagasaki University	Conti.
Analysis of ATM activation by delayed mitochondrial ROS	Genro Kashino	Nara Medical University	Keiji Suzuki	Nagasaki University	Conti.
Effective tumor suppression and protection from exposure to ionizing radiation by exploring new functions of ascorbic acid	Habu, Toshiyuki	Mukogawa Women's University	Megumi Sasatani	Hiroshima University	Conti.
Role of XRCC3 polymorphism in pathogenesis and progression of cardiac hypertrophy	Sakai Chiemi	Hiroshima University	Satoshi Tashiro	Hiroshima University	Conti.
Molecular mechanisms of DNA damage repair in the pathogenesis of cardiovascular diseases	Mari Ishida	Hiroshima University	Satoshi Tashiro	Hiroshima University	Conti.
Interaction between nuclear DNA damage and mitochondrial DNA damage	Mari Ishida	Hiroshima University	Satoshi Tashiro	Hiroshima University	New.
Time-lapse analysis of nuclear factors involved in DNA damage response and repair	Ken-ichi Yano	Kumamoto University	Keiji Suzuki	Nagasaki University	Conti.
Analysis of cellular function of polyubiquitinated PCNA	Yuji Masuda	Nagoya University	Megumi Sasatani	Hiroshima University	Conti.
Mechanisms of DNA damage responses in hypoxic cancer cells	Hidetaka Eguchi	Juntendo University	Keiji Tanimoto	Hiroshima University	Conti.
Analysis of the mechanisms involved in radiosensitivity of malignant glioma cells	Hama Seiji	Hiroshima University	Shinya Matsuura	Hiroshima University	Conti.
Analysis of the role of non-canonical translation initiation factors in radiation-induced DNA damage restoration.	KAKUTA Shigeru	The University of Tokyo	Osamu Kaminuma	Hiroshima University	New.
Role of unrepaired DNA damages in the radiation induced mutagenesis	Noda Asao	Radiation Effects Research Foundation	Keiji Suzuki	Nagasaki University	Conti.
Identification of hypoxia-induced RNA modifications using a nanopore sequencer	Kiichi Hirota	Kansai Medical University	Keiji Tanimoto	Hiroshima University	Conti.
Investigation of protective effect of Nrf2 against radiation-induced infertility	Masahiko KANEHIRA	University of Yamanashi	Osamu Kaminuma	Hiroshima University	New.
Mechanism by which splicing factors promote repair of radiation-induced DNA double-strand breaks	Motohiro Yamauchi	Kyushu University	Keiji Suzuki	Nagasaki University	New.

FY2022 Adopted Joint Usage/Research Projects (As of December 26, 2022)

Joint Research Title	Joint Researcher (Representative)	Affiliated Organization	Resident Researcher (Representative)	Affiliated Organization	New. · Conti.
Effects of phase separation of DNA double-strand break repair factors on the frequency of chromosome rearrangement	Kie Ozaki	Kyushu University	Yu Abe	Nagasaki University	New.
Histone H3K36 methyltransferase functions in DNA repair	URA Kiyoe	Chiba University	Satoshi Tashiro	Hiroshima University	Conti.
Studies on genomic damage caused by viral infection and radiation	Hironori Yoshiyama	Shimane University	Shinya Matsuura	Hiroshima University	Conti.
Alcohol intake is associated with the risk of developing hyperglycemic disorders in young women	Vladimir Pereverzev	Belarusian State Medical University	Naomi Hayashida	Nagasaki University	Conti.
Comparative assessment of gastroduodenal gastric microbiota resistome variability in patients living in the Gomel region of the Republic of Belarus infected with Helicobacter pylori to develop effective methods of resistance gene detection (using next generation sequencing) in persons affected by the Chernobyl disaster and residents of Japan with diseases of the gastrointestinal tract.	Evgenii Voropaev	Gomel State Medical University	Naomi Hayashida	Nagasaki University	New.
Regulation of chromatin structures involved in repair of UV-induced DNA damage	Kaoru Sugasawa	Kobe University	Satoshi Tashiro	Hiroshima University	Conti.
Roles of epigenomic modification on DNA damage response under hypoxic conditions	Eisaburo Sueoka	Saga University	Keiji Tanimoto	Hiroshima University	Conti.
Elucidation of the role of Rif1 in DSB repair	Iguchi Tomohiro	Tokyou Metropolitan Institute of Medical Science	Osamu Kaminuma	Hiroshima University	Conti.
A study of induction-mechanisms of DNA double-strand breaks	Isao Kuraoka	Fukuoka University	Satoshi Tashiro	Hiroshima University	New.
Transcriptome analyses of radiation responses in hypoxia by using public database	Hiromasa Ono	Research Organization of Information and Systems	Keiji Tanimoto	Hiroshima University	Conti.
Hypoxia signal and DNA damage response in aging	Bhawal Ujjal	Nihon University	Keiji Tanimoto	Hiroshima University	Conti.
Novel responsible genes of diseases with genomic instability around the Chernobyl area	Ogi Tomoo	Tokai National Higher Education and Research System	Norisato Mitsutake	Nagasaki University	Conti.
Analysis of the molecular mechanism of the genomic instability in carcinogenesis	Tomoko Ishikawa-Fujiwara	Osaka University	Megumi Sasatani	Hiroshima University	New.
Analysis of DNA damage-dependent proteasome regulation by deubiquitinases	Maiko OKADA	Tokyo University of Technology	Keiji Suzuki	Nagasaki University	Conti.
Roles of the hypoxia-inducible factor- α in radiation sensitivity	Yuichi Makino	Asahikawa Medical University	Keiji Tanimoto	Hiroshima University	Conti.

Joint Research Title	Joint Researcher (Representative)	Affiliated Organization	Resident Researcher (Representative)	Affiliated Organization	New. · Conti.
The cancer risk of ulcerative colitis investigated by 53BP1 fluorescent staining.	Hashiguchi Keiichi	Nagasaki University	Yuko Akazawa	Nagasaki University	Conti.
53BP1 fluorescent staining expression as DNA damage response in the patients of superficial laryngopharyngeal squamous cell carcinoma	Maiko Tabuchi	Nagasaki University	Yuko Akazawa	Nagasaki University	Conti.
Investigation of DNA damage response for lipotoxic hepatocyte	Nakao Yasuhiko	Nagasaki University	Yuko Akazawa	Nagasaki University	New.
The Roles of Matrin3 in DNA Repair	Lin Shi	Affiliated Hospital of Xuzhou Medical University	Satoshi Tashiro	Hiroshima University	Conti.
DNA damage response molecule expression analysis as a factor predicting the prognosis of oropharyngeal cancer	Hideaki Nishi	Nagasaki university	Katsuya Matsuda	Nagasaki University	Conti.
Analysis of radiation-specific molecular abnormalities in skin cancer associated with medical radiation exposure	Hiroyuki Murota	Nagasaki university	Masahiro Nakasima	Nagasaki University	Conti.
Analysis of accelerated senescence and DNA damage accumulation in DNA ligase4 deficient mouse	SHIRAIKI Kazunori	Osaka prefecture university	Megumi Sasatani	Hiroshima University	Conti.
Molecular pathologic characteristics of benign thyroid nodules showing nodule in nodule morphology	Mayu Ueda	Nagasaki University	Katsuya Matsuda	Nagasaki University	New.
The role of TIP60 histone acetyltransferase complex in radiation-induced DNA damage response	Tsuyoshi Ikura	Kyoto University	Satoshi Tashiro	Hiroshima University	Conti.
Analysis of the mechanisms of the formation of nuclear F-actin by DNA damage and THz irradiation	HARATA Masahiko	Tohoku University	Satoshi Tashiro	Hiroshima University	New.
How autophagy contributes to proliferation of cancer cells under genotoxic stress?	FURUYA Kanji	Kyoto University	Yasuko Honjo	Hiroshima University	New.

【Other important projects】

2. Research on mechanisms of radiation carcinogenesis and development of cancer treatment

The effect of low-dose irradiation on the functions of tumor-associated macrophages	Nakajima Shotaro	Fukushima Medical University	Osamu Kaminuma	Hiroshima University	Conti.
Genomic and epigenomic analysis of hematological malignancies	Hirotaka Matsui	Kumamoto University	Akiko Nagamachi	Hiroshima University	Conti.
Histopathological analysis in the carcinogenic processes on radiation-induced intestinal tumor.	Morioka Takamitsu	Nat'l Insti. for Quantum Science and Technology	Megumi Sasatani	Hiroshima University	Conti.
Elucidation of the mechanism of radiation-induced hepatocarcinogenesis.	Morioka Takamitsu	Nat'l Insti. for Quantum Science and Technology	Keiji Suzuki	Nagasaki University	Conti.

Joint Research Title	Joint Researcher (Representative)	Affiliated Organization	Resident Researcher (Representative)	Affiliated Organization	New. · Conti.
Comprehensive analysis of immune-associated gene expression stimulated by ionizing radiation	Yuki Uchihara	Gunma University	Keiji Suzuki	Nagasaki University	Conti.
Development of a screening method for anticancer drugs targeting the error-prone DNA repair pathway activated in cancer cells after ionizing radiation	Kohzaki Masaoki	University of Occupational and Environmental Health, Japan	Keiji Suzuki	Nagasaki University	Conti.
Elucidation of molecular mechanism of ATM-activation by metformin	Tomoyuki Hamamoto	Showa Pharmaceutical University	Keiji Suzuki	Nagasaki University	Conti.
Etiology-specific roles of four genetic loci conferring risk for radiation-related and sporadic thyroid cancer in adult patients from Belarus	Tatsiana Leonava	Minsk City Clinical Oncological Center	Vladimir Saenko	Nagasaki University	Conti.
Expression of PD-L1 and PD-1 in poorly differentiated thyroid carcinoma as a means of selecting patients for immunotherapy	Mikhail Frydman	Minsk City Clinical Oncological Center	Vladimir Saenko	Nagasaki University	Conti.
Development of the novel cancer therapy based on host immune surveillance	Yasuda Tomoharu	Hiroshima University	Toshiya Inaba	Hiroshima University	Conti.
Genomic mutation analysis of radiation-induced mouse hepatocellular carcinoma	Yi SHANG	National Institutes for Quantum Science and Technology	Keiji Suzuki	Nagasaki University	Conti.
Elucidation of mechanism of anti-PD-1 antibody resistance in renal cell carcinoma based on the analysis of BACH1 function	Kohei Kobatake	Hiroshima University	Osamu Kaminuma	Hiroshima University	Conti.
Study of radiation-induced senescence in helper T cells	Wang Duo	University of Occupational and Environmental Health, Japan	Keiji Suzuki	Nagasaki University	New.
Development of NFAT isoform selective control method as a novel cancer treatment strategy	Noriko Kitamura	Tokyo Metropolitan Institute of Medical Science	Osamu Kaminuma	Hiroshima University	New.
Study on the effect of irradiation on the structure and functions of extracellular matrix protein	Koshikawa Naohiko	Tokyo Institute of Technology	Osamu Kaminuma	Hiroshima University	Conti.
Role of miR-214/Per1 in mediating circadian variation of radiation sensitivity between normal and cancer cells	Ning-Ang Liu	School of Radiation Medicine and Protection (SRMP), Soochow University, China	Jiying Sun	Hiroshima University	Conti.
Epigenome analysis of low-dose and low-dose-rate radiation carcinogenesis	Kazuhiro Daino	National Institutes for Quantum Science and Technology	Megumi Sasatani	Hiroshima University	Conti.
Preliminary study for genome analysis using preserved blood specimens from atomic bomb survivors	Tomonori Hayashi	Radiation Effects Research Foundation	Shinya Matsuura	Hiroshima University	Conti.
PD-L1 expression in radioiodine-refractory radiogenic and sporadic thyroid cancer from Ukraine	Liudmyla Zurnadzhay	State Institution "VP Komisarenko Institute of Endocrinology and Metabolism of the NAMS of Ukraine" (IEM)	Vladimir Saenko	Nagasaki University	Conti.

FY2022 Adopted Joint Usage/Research Projects (As of December 26, 2022)

Joint Research Title	Joint Researcher (Representative)	Affiliated Organization	Resident Researcher (Representative)	Affiliated Organization	New. · Conti.
Analysis of the malignant mechanism of highly metastatic cells derived from SCLC	Shuichi SAKAMOTO	Microbial Chemistry Research Foundation	Megumi Sasatani	Hiroshima University	Conti.
Cellular kinetics of hematopoietic stem cell with Sfpi1 gene deletion in bone marrow and spleen of X-irradiated mice	Mitsuaki Ojima	Oita University of Nursing and Health Sciences	Keiji Suzuki	Nagasaki University	Conti.
Analyses of hepatic stellate cells and macrophages associated with radiation liver carcinogenesis in mice	Masataka Taga	Radiation Effects Research Foundation	Keiji Suzuki	Nagasaki University	Conti.
Development of MSC-secreted nanovesicle-based therapy	MIURA Yasuo	Fujita Health University	Tatsuo Ichinohe	Hiroshima University	New.
Molecular mechanisms of radio-resistance in thyroid cancers	TANAKA Aya	Nagasaki University	Norisato Mitsutake	Nagasaki University	Conti.
Development of 90Y-labeled internal radiation therapy agents -Molecular design for elucidation of radiation damages and decrease in radiation dose	FUCHIGAMI Takeshi	Kanazawa University	Kodai Nishi	Nagasaki University	Conti.
Mechanisms of radiation carcinogenic susceptibility, explored from changes in the tissue microenvironment	Masaaki Sunaoshi	National Institutes for Quantum Science and Technology	Keiji Suzuki	Nagasaki University	Conti.
Long-term control of glioma stem cell population recurrence by radiation and a novel chemotherapeutic paradigm	SUGIMORI, MICHIYA	University of Toyama	Norisato Mitsutake	Nagasaki University	New.
Evaluation of abscopal effect of liver metastasis after immunoradiotherapy using mouse colon cancer metastasis model	Yasuhiro Kitadai	Prefectural University of Hiroshima	Osamu Kaminuma	Hiroshima University	New.
Analysis of myelodysplastic syndromes/myeloproliferative disorders in atomic bomb survivors	Daisuke Imanishi	Nagasaki Goto Chuoh Hospital	Yasushi Miyazaki	Nagasaki University	Conti.
Transcription elongation regulation of inflammation	Jun Ninomiya-Tsuji	North Carolina State University	Maiko Ingakaki	Hiroshima University	Conti.
Development of estimation protocol for radiosensitivity of individual using iPS cells and Raman spectroscopy	Horie Masanobu	Kyoto University	Hideaki Fujita	Hiroshima University	New.
Analysis of the suppression of oxidative stress by Sirtuins	Akira Tachibana	Ibaraki University	Kenji Kamiya	Hiroshima University	Conti.
Elucidation of disrupting effect on epigenetics induced by ionizing irradiation	Akinari YOKOYA	Ibaraki University	Keiji Suzuki	Nagasaki University	Conti.
The elucidation of a carcinogenic mechanism and determinants of malignancy for human cancers	Eiso Hiyama	Hiroshima University	Keiji Tanimoto	Hiroshima University	Conti.

FY2022 Adopted Joint Usage/Research Projects (As of December 26, 2022)

Joint Research Title	Joint Researcher (Representative)	Affiliated Organization	Resident Researcher (Representative)	Affiliated Organization	New. · Conti.
----------------------	--------------------------------------	-------------------------	-----------------------------------------	-------------------------	------------------

【Other important projects】

3. Basic research on development of medical care for radiation disasters

Development of a new radiation hazard analysis method using advanced electron microscopes	Atsuko Iwane	Institute of Physical and Chemical Research (RIKEN)	Satoshi Tashiro	Hiroshima University	Conti.
Elucidating the role of T cell repertoire variation in disease pathogenesis	Kimiko Inoue	RIKEN	Osamu Kaminuma	Hiroshima University	Conti.
Analyses of mechanisms underlying lung fibrosis, and serach for target molecules for drug development	Takeshi Nabe	Setsunan University	Osamu Kaminuma	Hiroshima University	New.
Analysis of the pathophysiology for periodontal disease, a risk factor for radiation-induced jaw osteonecrosis.	Tanaka Yoshihiko	Fukuoka Dental College	Osamu Kaminuma	Hiroshima University	Conti.
Mouse model study of clonal hematopoiesis and cardiovascular disease	Yoichiro Kusunoki	Radiation Effects Research Foundation	Megumi Sasatani	Hiroshima University	Conti.
Comprehensive searches for novel biomarkers associated with radiation-induced liver injury in mice	Masataka Taga	Radiation Effects Research Foundation	Megumi Sasatani	Hiroshima University	Conti.
Development of measuring device of radiation dose using human teeth	Miyake Minoru	Kagawa University	Hiroshi Yasuda	Hiroshima University	Conti.
Occupational radiaiton dose assessment for medical personnel using Electron Spin Resonance	Yamaguchi Ichiro	National Institute of Public Health	Hiroshi Yasuda	Hiroshima University	Conti.

【Other important projects】

4. Basic research on regenerative medicine approaches to improve radiation treatment

Regenerative medicine in cardiovascular diseases	Kajikawa Masato	Hiroshima University	Yukihito Higashi	Hiroshima University	Conti.
Study of functional analysis of vascular endothelial cell	Akira Taguchi	Matsumoto Dental University	Yukihito Higashi	Hiroshima University	Conti.
Analysis of inflammatory responses induced by necrotic cells	Kisaburo NAGATA	University of Toho	Osamu Kaminuma	Hiroshima University	New.
Reprogramming of human bone marrow-derived mesenchymal stem cells and treatment of radiation damage to normal tissues	Yoshio Hosoi	Tohoku University	Shinya Matsuura	Hiroshima University	New.
Research on the function and mechanism of cardiomyocyte physiology	Masafumi Takahashi	Jichi Medical University	Yukihito Higashi	Hiroshima University	Conti.
Regeneration of musculoskeletal tissues using MSC-derived exosome	Nobuo Adachi	Hiroshima University	Yukihito Higashi	Hiroshima University	Conti.

FY2022 Adopted Joint Usage/Research Projects (As of December 26, 2022)

Joint Research Title	Joint Researcher (Representative)	Affiliated Organization	Resident Researcher (Representative)	Affiliated Organization	New. · Conti.
Analysis of the function of cardiac muscle cells	Goto Chikara	Hiroshima International Uni.	Yukihito Higashi	Hiroshima University	Conti.
Effects of Radiation Exposure on Kidney	Akira Nishiyama	Kagawa University	Yukihito Higashi	Hiroshima University	New.

【Other important projects】

5. Evaluative research on health effects and health risks associated with radiation disasters

Analysis of stress responsive substances induced by cerebral ischemia	Sakai Norio	Hiroshima University	Satoshi Tashiro	Hiroshima University	Conti.
Association of radiation exposure with atherosclerosis and cardiovascular disease among atomic bomb survivors	Sasaki Nobuo	Hiroshima Atomic Bomb Casualty Council	Yukihito Higashi	Hiroshima University	New.
Establishment of individual radiosensitivity assessment	Ryuji Okazaki	University of Occupational and Environmental Health, Japan	Keiji Suzuki	Nagasaki University	New.
Long-term health effect study of young people who evacuate after the Great East Japan Earthquake	Kana Yamamoto	Medical Governance Research Institute	Masaharu Tsubokura	Fukushima Medical University	New.
Association between lifestyle changes and the prevalence of abdominal obesity for four years after the Great East Japan Earthquake: The Fukushima Health Management Survey	Mayu Uemura	Nagoya University	Tetsuya Ohira	Fukushima Medical University	Conti.
Survey of health effects and issues during and after emergency evacuation of vulnerable people in the Soso area after the Great East Japan Earthquake	Saori Nonaka	Minamisoma Municipal General Hospital	Masaharu Tsubokura	Fukushima Medical University	Conti.
Association between Laughter and Lifestyle Diseases after the Great East Japan Earthquake	Eri Eguchi	Fukushima Medical University	Tetsuya Ohira	Fukushima Medical University	Conti.
Relationship between changes in living and economic environment before and after the Great East Japan Earthquake and cardiovascular disease: the Fukushima Health Management Survey	Ai Noda	Juntendo University	Tetsuya Ohira	Fukushima Medical University	Conti.
Study on the health effects of radioactively contaminated feed on livestock	Masayoshi KUWAHARA	The University of Tokyo	Osamu Kaminuma	Hiroshima University	Conti.
Relationship between dietary patterns after radiation disasters and future mental distress: Fukushima Prefectural Health Survey	Yoshida Junko	Fukuyama University	Tetsuya Ohira	Fukushima Medical University	Conti.
Noise reduction of 3D Gel imaging by using DL	Shin-ichiro Hayashi	Hiroshima International University	Seiko Hirota	Hiroshima University	Conti.
Prevalence of behavioral risk factors for COVID-19 infection in the territories affected by the Chernobyl disaster	Tamara Sharshakova	Gomel State Medical University	Naomi Hayashida	Nagasaki University	New.
Assessment of an anxiety level of the population in the territories affected by the Chernobyl disaster in the conditions of the COVID-19 spreading	Tamara Sharshakova	Gomel State Medical University	Naomi Hayashida	Nagasaki University	New.

FY2022 Adopted Joint Usage/Research Projects (As of December 26, 2022)

Joint Research Title	Joint Researcher (Representative)	Affiliated Organization	Resident Researcher (Representative)	Affiliated Organization	New. · Conti.
The impact of a disaster on smoking behavior: a longitudinal study after the Great East Japan Earthquake	Risa Murakami	Kobe University	Tetsuya Ohira	Fukushima Medical University	New.
Spatiotemporal variation of natural radon isotopes in assessing indoor human exposures and effective countermeasures using room based experiments	HASAN MD MAHAMUDUL	The University of Tokyo	Tetsuo Ishikawa	Fukushima Medical University	New.
Cross-cultural study of information needs and organizational approaches on diabetes issues of population in Gomel and Fukushima	Anastasiya Sachkouskaya	Gomel State Medical University	Aya Goto	Fukushima Medical University	Conti.
Effect of neutrophils on cytokinesis block micronucleus assay	TAKEBAYASHI Kai	Hirosaki University	Keiji Suzuki	Nagasaki University	Conti.
The effect of radiation on trasportation of regenerative medicine	Tomoki Aoyama	Kyoto University	Hiroshi Yasuda	Hiroshima University	Conti.
The effects of post-disaster lifestyle changes on the results of health checkups among children and adolescents	Yamagishi Kazumasa	University of Tsukuba	Tetsuya Ohira	Fukushima Medical University	Conti.
Historical studies of research into health effects caused by radiation disasters, based on ABCC/RERF-related archives	Kaori Iida	Graduate Univ. for Advanced Studies, SOKENDAI	Akiko Kubota	Hiroshima University	Conti.
Study on a relationship between snow accumulation and changes in ambient gamma dose rate from natural terrestrial radiation	OMORI Yasutaka	Hirosaki University	Tetsuo Ishikawa	Fukushima Medical University	New.
The effects of radiation exposure and background factors on the development of renal disease	Konta Tsuneo	Yamagata University	Seiji Yasumura	Fukushima Medical University	Conti.
Research on the indicators of health impact caused by nuclear disaster	Sae Ochi	The Jikei University School of Medicine	Seiji Yasumura	Fukushima Medical University	Conti.
Long-term trend of the subjective health: the Fukushima health management survey	Masato Nagai	Tokyo Medical and Dental University	Tetsuya Ohira	Fukushima Medical University	New.
The incidence of diabetes on the association with psychological distress in the cohort of evacuee after the Great East Japan Earthquake in Fukushima, Japan: A 10-year follow-up of the Fukushima Health Management Survey	Kawasaki Ryo	Osaka University	Seiji Yasumura	Fukushima Medical University	Conti.
A study of the effects of the Great East Japan Earthquake on the physical and cognitive abilities of the elderly	Tomotaka Sobue	Osaka University	Seiji Yasumura	Fukushima Medical University	New.
Association of PTSD symptoms, mental distress, and history of CVD among residents in the evacuation area of Fukushima after the Great East Japan Earthquake	Kazuhide Tezuka	Osaka Center for Cancer and Cardiovascular Disease Prevention	Tetsuya Ohira	Fukushima Medical University	Conti.
Noise reduction of ESR signal from biomaterials	Shin Toyoda	Okayama University of Science	Seiko Hirota	Hiroshima University	Conti.

Joint Research Title	Joint Researcher (Representative)	Affiliated Organization	Resident Researcher (Representative)	Affiliated Organization	New. · Conti.
【Other important projects】					
6.Application of radioisotopes to medical diagnosis and treatment					
Role of KATP channel molecules in radiation-induced neurological, urinary and reproductive system disorders	Zhou Ming	Akita University	Tao-Sheng Li	Nagasaki University	Conti.
Development of a new therapeutic strategy for aspergillosis using radioisotopes	Masato Tashiro	Nagasaki Universit	Kodai Nishi	Nagasaki University	Conti.
Development of novel radiotheranostics methods targeting tumor hypoxia	Yoichi Shimizu	Kyoto University	ZHAO Songji	Fukushima Medical University	Conti.
Study on PET image quality improvement by PET scanner	Yasuyuki Takahashi	Hirosaki University	Noboru Oriuchi	Fukushima Medical University	Conti.
Study of astatine-211 chemical separation method useful for internal isotope therapy	Yokoyama, Akihiko	Kanazawa University	Kohshin Washiyama	Fukushima Medical University	Conti.
Development of nuclear medicine imaging for drug-resistant bacterial infection	Masato Kobayashi	Kanazawa University	Kodai Nishi	Nagasaki University	Conti.
Development of 211At radiolabeling reaction via aryl boronic acid or ester precursor and its application to radio-theranostics probes.	KIMURA HIROYUKI	Kyoto Pharmaceutical University	Kazuhiro Takahashi	Fukushima Medical University	New.
Research on fundamental science and radiochemical characteristics of astatine	Ichiro Nishinaka	National Institutes for Quantum Science and Technology	Kohshin Washiyama	Fukushima Medical University	Conti.
Development of visualization and analytical method for At-211	Mariko Segawa	Japan Atomic Energy Agency	Kohshin Washiyama	Fukushima Medical University	Conti.
Association between sleep state and mental health state among elementary school children	Tanigawa Takeshi	Juntendo University	Tetsuya Ohira	Fukushima Medical University	Conti.
Validation of dosimetry analysis using scintigraphy and correlation with renal toxicity of Lu-177-DOTATE therapy in neuroendocrine neoplasm	Noriaki Miyaji	Cancer Institute Hospital of JFCR	Noboru Oriuchi	Fukushima Medical University	New.
Establish of analysys method in the oiginal phantom for tau PET imaging	Kei Wagatsuma	Kitasato University	Kenta Miwa	Fukushima Medical University	New.
Development of probes for radiotheranostics containing alpha emitter radionuclides	Ogawa Kazuma	Kanazawa University	Kazuhiro Takahashi	Fukushima Medical University	Conti.
Development of a targeted theranostics platform using 211At	Nakamura Hiroyuki	Tokyo Institute of Technology	Kohshin Washiyama	Fukushima Medical University	New.

FY2022 Adopted Joint Usage/Research Projects (As of December 26, 2022)

Joint Research Title	Joint Researcher (Representative)	Affiliated Organization	Resident Researcher (Representative)	Affiliated Organization	New. · Conti.
----------------------	--------------------------------------	-------------------------	-----------------------------------------	-------------------------	------------------

【Other important projects】

7.Medical radiation research

Development of novel radiosensitizing therapy for malignant brain tumors using photosensitizer precursor; 5-aminolevulinic acid	Mishima Kazuhiko	Saitama Medical University	Osamu Kaminuma	Hiroshima University	Conti.
Assessment of DNA damage repair responses after heavy-ion radiation exposure	Asako Nakamura	Ibaraki University	Keiji Suzuki	Nagasaki University	Conti.
Effects of phytoestrogens on radiation response in hypoxic cancer cells	Takako Sakamoto	Jichi Medical University	Keiji Tanimoto	Hiroshima University	Conti.
Protective effect of p53 regulators against intestinal damage after multiple-dose irradiation	Yuichi Nishiyama	Tokushima University	Megumi Sasatani	Hiroshima University	Conti.
Research on the mechanism of radiation-induced taste disorders	Masaru Konishi	Hiroshima University	Shinya Matsuura	Hiroshima University	Conti.
Novel therapeutic approaches targeting L-type amino acid transporters for radiation - induced cancer treatment	Keitaro Hayashi	Dokkyo Medical University	Osamu Kaminuma	Hiroshima University	Conti.

【Open-topic projects】

Functional screening of metabolites produced by plant derived lactic acid bacteria	Sugiyama Masanori	Hiroshima University	Keiji Tanimoto	Hiroshima University	Conti.
Effect of antibiotic and hormonal therapy on intrauterine microbial colonization in endometriosis	Khaleque Khan	Kyoto Prefectural University of Medicine	Masahiro Nakashima	Nagasaki University	Conti.
Examination of the effect of oral microflora alteration on pulmonary fibrosis	Hattori Noboru	Hiroshima University	Yoshihiro Miyata	Hiroshima University	New.
Whole exome sequencing of Beckwith-Wiedemann syndrome patients without known causative (epi)genome alterations	Soejima Hidenobu	Saga University	Koh-ichiro Yoshiura	Nagasaki University	New.
Investigation of curative treatment methods for psoriasis using adipose-derived stem cell	Ryohei Ogino	Hiroshima University	Keiji Tanimoto	Hiroshima University	Conti.
Development of monoclonal antibodies for therapy, diagnosis and prevention	Kiyomi Shitaoka	Hiroshima University	Osamu Kaminuma	Hiroshima University	New.
Functional analysis of optineurin in innate immunity	Masaya Fukushi	Hiroshima University	Hideshi Kawakami	Hiroshima University	Conti.
Whole genome sequencing of amphibians having undergone remarkable adaptive evolution	Takeshi Igawa	Hiroshima University	Hideshi Kawakami	Hiroshima University	Conti.

FY2022 Adopted Joint Usage/Research Projects (As of December 26, 2022)

Joint Research Title	Joint Researcher (Representative)	Affiliated Organization	Resident Researcher (Representative)	Affiliated Organization	New. · Conti.
Analysis of the mechanism of LAT1 expression and mTOR activation in ovarian cancer	Masaki Sekine	Hiroshima University	Hideshi Kawakami	Hiroshima University	Conti.
Biological effects of chemicals on endogenous substances in vitro and in vivo	Yaichiro Kotake	Hiroshima University	Nariaki Fujimoto	Hiroshima University	Conti.
Analysis of the interaction between BMP/Smad and TNFa-induced inflammatory signals.	Shizu Tsuchiya	Hiroshima University	Toshiya Inaba	Hiroshima University	New.
The mechanisms of regulation of immune response by exercise	Daisuke Shiiba	Kurashiki University of Science and the Arts	Keiji Tanimoto	Hiroshima University	Conti.
Disaster response among hospital nurses dispatched to evacuation centers in and beyond the Fukushima Prefecture	Toyoaki Sawano	Jyoban Hospital of Tokiwa Foundation	Masaharu Tsubokura	Fukushima Medical University	New.
Search for novel therapeutic targets for knee osteoarthritis	Norimitsu MORIOKA	Hiroshima University	Keiji Tanimoto	Hiroshima University	Conti.
An interview survey to search for the causes of decreased access to cancer care after the 2011 Fukushima triple disaster	Akihiko Ozaki	Jyoban Hospital of Tokiwa Foundation	Masaharu Tsubokura	Fukushima Medical University	New.
The effects of vascular calcification on the central nervous system	HOSHINO Tomonori	Hiroshima University	Keiji Tanimoto	Hiroshima University	Conti.
Neural basis of adaptive behaviors coping stress	Hidenori Aizawa	Hiroshima University	Hideshi Kawakami	Hiroshima University	Conti.
Molecular mechanism of anti-thyroid effects of inorganic iodine in Graves' disease and its escape phenomenon	UCHIDA Toyoyoshi	Juntendo University	Yuji Nagayama	Nagasaki University	Conti.
analysis of Staphylococcus aureus derived from atopic dermatitis and innate immunity	NUMATA TOMOFUMI	Hiroshima university	Osamu Kaminuma	Hiroshima University	Conti.
Elucidation of signaling pathways that contribute to fibrotic stenosis in Crohn's disease	Junya Shiota	Nagasaki University	Yuko Akazawa	Nagasaki University	New.
Understanding the mechanism of cancer cachexia and the development of a comprehensive therapeutic exercise program	MIYAZAKI, Mitsunori	Hiroshima University	Keiji Tanimoto	Hiroshima University	Conti.
A Study on Effects of Low-Dose Radiation for Vascular Function	Hirano Harutoyo	Shizuoka University	Yukihiro Higashi	Hiroshima University	Conti.
Profiling of Circulating T cells in Patients with Lymphedema	Hirofumi Imai	Hiroshima University	Tatsuo Ichinohe	Hiroshima University	Conti.
Prolyl isomerasases are committed to the onset of both cancer and metabolic syndromes.	Asano Tomoichiro	Hiroshima University	Toshiya Inaba	Hiroshima University	Conti.
Analysis of estrous cycle in common marmoset	Soromaru Yusuke	Hiroshima University	Keiji Tanimoto	Hiroshima University	Conti.

FY2022 Adopted Joint Usage/Research Projects (As of December 26, 2022)

Joint Research Title	Joint Researcher (Representative)	Affiliated Organization	Resident Researcher (Representative)	Affiliated Organization	New. · Conti.
Functional analysis of adrenal tumor expressed genes using human adrenal cell lines.	Oki Kenji	Hiroshima University	Tatsuo Ichinohe	Hiroshima University	Conti.
Research on Tscm cells for therapeutic application in hepatitis	Hiromi Chayama	Hiroshima University	Tatsuo Ichinohe	Hiroshima University	New.
Analysis of transplantation and tumor antigen-specific immune response	OHDAN HIDEKI	Hiroshima University	Satoshi Tashiro	Hiroshima University	New.
Neuroprotective effects of ROCK inhibitors on retinal ganglion cells	Edo Ayaka	Hiroshima University	Satoshi Tashiro	Hiroshima University	New.
Elucidation of epigenetic regulation for brown fat development	Haruya Ohno	Hiroshima University	Akiko Nagamachi	Hiroshima University	Conti.
Investigation of the pathophysiology for hereditary neurological diseases	Masahiro NAKAMORI	Hiroshima University	Kodai Kume	Hiroshima University	Conti.
inducible gene expression system	Teruhisa Fujii	Hiroshima University	Satoshi Tashiro	Hiroshima University	Conti.
Elucidation of intramyocardial calcium dynamics in A kinase anchor protein mutants	Yukiko Nakako	Hiroshima University	Satoshi Tashiro	Hiroshima University	Conti.
Functional analysis of primary cilia using knockout cells.	Koji Ikegami	Hiroshima University	Hideshi Kawakami	Hiroshima University	Conti.
Analysis of the role of innate lymphoid cell in pulmonary arterial hypertension	Nakae Susumu	Hiroshima University	Tatsuo Ichinohe	Hiroshima University	New.
The analysis of cancer genome and circulation tumor DNA for gastrointestinal cancer	Yuji Urabe	Hiroshima University	Akiko Nagamachi	Hiroshima University	Conti.
Exploring the regulatory function of protein droplets formed through liquid-liquid phase separation (LLPS) in cells	Shin-ichi Tate	Hiroshima University	Satoshi Tashiro	Hiroshima University	New.
The analysis of adipose specific Ints6 conditional knockout mouse	Yuichiro Otani	Hiroshima University	Tatsuo Ichinohe	Hiroshima University	New.